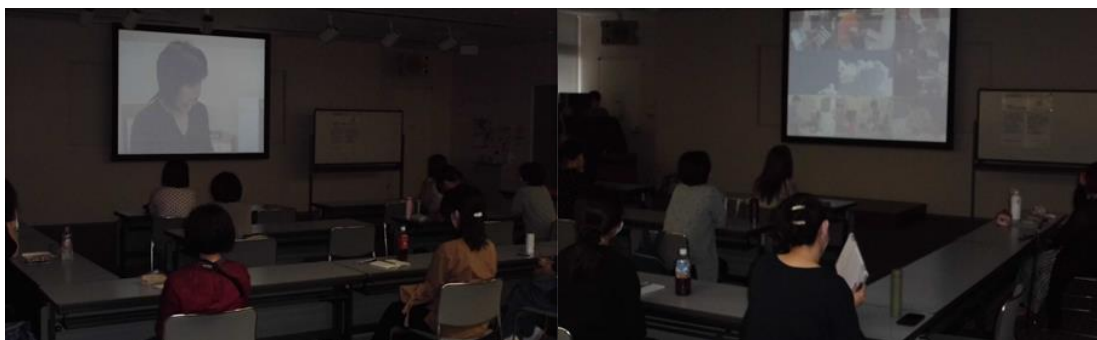


「発達障害親の会 *PEACCH*」が主催された DVD 鑑賞会に参加しました。

2022年6月24日(金)10:00-12:00 広島市安芸区地域福祉センターで開催された「親と教師のための自閉症の子供の評価」の DVD 鑑賞会に参加しました。JR 海田市駅南口を降りて 5 分程のところにある会場です。4 年前に同じ会場でこの団体の開催されたイベントに参加したのが、私の初めての市民活動訪問でした。あれから 4 年間、色々な団体の活動を見学したりお話を聞かせていただいたりしてきました。

今回、鑑賞したのは、朝日福祉ガイド DVD シリーズ「自閉症の人が見ている世界～自閉症の人を正しく理解する～」(企画・制作・著作・発行＝朝日新聞厚生文化事業団)です。TEACCH プログラムの紹介と、実際の自閉症のお子さんの行動を評価するポイントを具体的な映像で示しています。例えば、ペットボトルを飲み終わった後の片づけを動作によって分解し、何ができて何ができないかを細かく評価していました。

今回はコロナ禍ということもあり、あまり広くは広報されなかったようで、参加者十数名は全てこの会のメンバーでした。もちろんメンバー以外の一般の方も参加可能です。今回は第 1 巻と第 2 巻でしたが、9 月に第 3 巻、来年 1 月に第 4 巻の DVD 鑑賞会がありますので、メンバー以外の方にもお勧めです。



<発達障害親の会 *PEACCH*> <https://peacch1028.wixsite.com/peacch>

・TEACCH (Treatment and Education of Autistic and related Communication-handicapped Children) に Peace (平和) を掛け合わせて団体名 PEACCH とされたそうです。

*TEACCH: アメリカノースカロライナ州の州立機関のことで、ここで作られたプログラムを TEACCH プログラム「自閉症及び、それに準ずるコミュニケーション課題を抱える子ども向けのケアと教育」と言います。

私は、今回の DVD を見て初めて TEACCH を知り、PEACCH の語源であることを知りました。団体の皆さんの想いが詰まった名前ですね。

・2012 年に保護者 4 名で設立された団体で、子どもたちの自立活動支援と保護者の支援を行っています。まだ発達障害があまり知られていないときに、同じ悩みを持つ保護者が自分たちでもできることがあると手を取り合って活動を続けてこられました。現在はメンバーも 60 名を超えました。今年は創設 10 周年記念のイベントを企画されるようです。2016 年～2018 年以来久しぶりのマツダ財団での支援になります。

(井上)